

平成 27 年 5 月 14 日

日本オセアニア学会 御中

AAR Japan [難民を助ける会]
会 長 柳瀬 房子
理事長 長 有紀枝

拝 啓

新緑の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたびは、AAR Japan [難民を助ける会] のバヌアツサイクロン被災者
緊急支援のために、大変多大なご芳志をお寄せ頂き、衷心より感謝申し上げます。
お預かりしましたご寄付は、被災された方々のために大切に使用させていただきます。

AAR では 3 月 18 日より 4 月 4 日まで、東京事務局からスタッフ 2 名を現地に
派遣し、緊急支援活動を実施しました。当会は、被災状況の調査や、国際機関など
他の支援団体との調整を踏まえ、大きな被害が出ていたにも関わらず支援が十分に
届いていなかった、首都ポートビラのあるエファテ島東部の村々で、流されてし
まった衣類や台所用品の配付を行いました。支援を届けたプリモ・ウォーター村の
ある女性は、AAR がお届けした鍋や皿などを使って早速調理を始めていました。
この村では、当会がお届けした生活用品が、被災後初めて届いた支援物資でした。

日本人スタッフ帰国以降は、現地の医療団体と協力し、タンナ島やエピ島など
6 島への物資配付や巡回医療の支援を行っております。

どうぞ今後とも温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

過ごしやすい季節となりましたが、なお一層ご自愛くださいませ。
このたびのご支援、誠にありがとうございました。

敬 具